



**S21 V1.2 ソフトウェア  
アップデートの内容**

2016年5月

ヒビノインターサウンド株式会社

## S21 V1.2 ソフトウェア

### ●新機能

- ・ グラフィック EQ のギャング機能が追加されました。
- ・ グラフィック EQ にて、画面に割り当てられている帯域のチャンネルフェーダー上側のソロボタンを押すとフェーダーが初期ポジションに戻り、もう一度ソロボタンを押すと編集後のポジションに移動します。(Do / Undo の使用方法)

### ●バグフィックス

- ・ もし CG のチャンネルが Spill Set に登録されていた場合、CG のチャンネルストリップをタッチ選択すると Spill Set のバンク内のチャンネルのパラメーターが開いてしまう問題を修正しました。
- ・ マスターとしてセットされていたバンク内でルーティング設定ができなかった問題を修正しました。
- ・ Overview Edit からチャンネルもしくはバンクの位置を移動する際、左右 2 つの画面の間をまたいで移動する場合に最終の移動先に到達する前に指を離してしまうと、その移動中の選択項目が画面の間で引っ掛かってしまう問題を修正しました。
- ・ セッション作成後に一番最初のスナップショットが更新されていない場合、セッションをロードしても Right Leg (R 側のメーターのこと) のインサートのルーティング設定が適用されていない問題を修正しました。
- ・ ステレオのチャンネルをグループもしくはマスターにルーティングしたとして、そのグループをステレオ→モノ→ステレオと切り替え動作を行った場合、その際にグループチャンネルをモノに切り替えた時に Right Leg (R 側) の信号が送られてこない問題を修正しました。
- ・ チャンネルもしくはバスをモノからステレオに切り替えてからルーティングして、セッションのセーブ→ロードを実施すると Right Leg (R 側) の信号音声が出て来ない問題を修正しました。
- ・ グループバスをマスターバスにルーティングして、その後続けてグループバスを Aux バスに変更した場合、Aux のセンドレベルが絞られていたとしても信号がその新規の Aux バスからマスターバスへ送られてしまう問題を修正しました。
- ・ チャンネルストリップ上部の選択部分からチャンネルの Overview を開いた際に、画面がそこから先に進めなくなってしまうことがある問題を修正しました。
- ・ Overview Edit において選択中のチャンネルをドラッグしたまま Spill Set のエリア内で動かしていると、Spill Set の内容が固定化されてしまい加えることも減らすこともできなくなる問題を修正しました。
- ・ 内蔵エフェクトを FX ラックから削除した場合に空の FX ウィンドウが残ってしまい、どうやってもその画面を消せず、そして同じ動作を繰り返して空の FX ウィンドウが 2 枚スクリーン上に出ている状態になるとソフトウェアのフリーズを引き起こす問題を修正しました。
- ・ コンソールが外部シンク (例: DMI 1 か 2) に設定されているセッションで立ち上がった場合にクロック設定が誤った状態になり、結果としてランダムで立て続けにコントロールメッセージがコンソールのソフトウェア側に送られてしまう問題を修正しました。  
(例: 偽のゲイン調整がランダムで発生し、ゲイントラッキングが有効になっているチャンネルのトリムが変更されてしまう、等)
- ・ 画面内の“クローズボタン”のエリアをタップした時にマクロが誤って起動されてしまう問題を修正しました。
- ・ Aux がグループに変更された場合 (8 個以上の Aux を用意する為に)、Aux のビューページにおいて若番 (例: Aux1) の Aux を選択した後に遅番 (例: Aux5) の Aux を選択すると、画面・情報の更新に長い時間が掛かる問題を修正しました。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp) <http://www.hibino-intersound.co.jp/>